

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療秘書専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療秘書実務		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療秘書専攻		学期及び曜時限	前期 火3	教室名	メイク室
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
ビジネスに相応しいメイクアップ技術の習得。						
《成績評価の方法と基準》						
実技テスト、授業にとりくむ姿勢						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは使用しない						
《授業外における学習方法》						
日常生活においての身だしなみとメイクアップの確認。						
《履修に当たっての留意点》						
仕事を成功させるための職場環境に合わせての女性メイクと一緒に実践していきましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業内容概要を理解できる。		各自タオル スキンケア用品	初回のためなし
		各コマにおける授業予定	メイクの心理効果 メイクに必要な道具や肌の触り方の基本			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分の顔の特徴を知ることができる。		各自タオル スキンケア用品	いつもより自分の顔を研究
		各コマにおける授業予定	自分の顔を知り、標準プロポーションと比較し顔を分析			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌作りのポイントとスキンケアの基本を理解することができる。		各自タオル スキンケア用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究
		各コマにおける授業予定	クレンジング・洗顔・化粧水・乳液の塗布のしかた			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクの基本知識を知ることができる。		各自タオル スキンケア用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究
		各コマにおける授業予定	色や形や質感の選び方			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本のメイクアップ方法を理解することができる。		各自タオル メイク用品	鏡を見て第一印象に好感をもてる色等の研究
		各コマにおける授業予定	ベースメイクに必要なアイテム 化粧下地とコントロールカラーの塗り方			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本のメイクアップ方法を理解することができる。	各自タオル メイク用品	鏡を見て自分の眉を研究
		各コマにおける授業予定	ファンデーションとコンシーラーの色選びと、のびし方		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得＜アイブロウ編＞できる。	各自タオル メイク用品	自分のまぶたの形の研究
		各コマにおける授業予定	標準の眉のバランスと眉の書き方の習得		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ポイントメイク技術の習得＜アイメイク編＞できる。	各自タオル メイク用品	自分自身の基本ベースを思い出し色を研究
		各コマにおける授業予定	アイシャドウの塗り方とグラデーション		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			